

2016年11月12日

## 初めての路面電車が貫通

武漢経済技術開発区は昨日、路面電車 T6 線のレールが全線貫通し、機電設備の取付け、試運転の段階に入っており、12 月の末に開通すると発表した。この路線は湖北省で初の現代的な路面電車の路線である。

T6 線は全長 16.8 キロ、武漢経開区官蓮湖路を起点とし、鳳凰二路、全力四路、後官湖大道などを経て地下鉄 3 号線沌陽大道駅が終点駅となっている。

T6 線のレールには自動転轍施設があり、列車走行データを受信し、自動でレールの切り替えが出来る。紹介によると、当該設備は国内の企業が自主研究開発したもので、横向きレール 2 本と縦向きレール 2 本の連結と方向の切り替えが出来るとのことである。

2016年11月14日

## 社会保険料の増加が続き、企業は人件費のコスト削減を望む

従業員の募集が難しい、社会保険料が高い、技術人材が乏しい…先月中旬、省政府のコスト監督調査の調べにより、人件費のコストダウンが企業の一般的な願いだとわかった。

「今は国家が社会保険の納付率を下げたが、平均給料水準が上がり続けているため、社会保険の納付基数もそれと一緒に高くなり、企業よりの社会保険の納付額は下がるどころか逆に上がっている。」

武漢のある飲食企業の責任者が養老保険を例にして計算したところ、去年の納付基数は下限が 3031.2 元、保険料率が 20%、企業は毎月 1 人毎のために 606.2 元を支払い、従業員も 242.5 元を支払っていた。今年、企業納付料率は 19%まで下がったが、納付基数の下限が 3286 元まで上げられたため、企業は 624.3 元、従業員は 262.8 元の支出でそれぞれ去年より増加した。

監督調査グループが武漢、黄石、宜昌、荊州、荊門などで調査した結果によると、人件費コストが企業経営の圧力となっており、継続的に上がる社会保険料が負担の主な原因となっている。